

## 尾本 政太郎 氏の学位審査結果の要旨

主査：塩島 一朗

副査：中邨 智之、湊 直樹

消化管由来ホルモン GLP-1 は食後に分泌され  $\beta$  細胞におけるインスリン分泌を刺激する。DPP-4 阻害薬は GLP-1 の分解酵素 DPP-4 を阻害することによりインスリン分泌を増加させる薬剤で、2 型糖尿病患者に広く用いられている。

申請者らは DPP-4 阻害薬の抗動脈硬化作用を検討するために、2 型糖尿病患者 113 名に DPP-4 阻害薬 sitagliptin を投与して、血中の動脈硬化関連バイオマーカー (MCP-1、sP-selectin、sE-selectin、sVCAM-1、sRAGE、adiponectin) の推移を検討したところ、sitagliptin 投与により MCP-1、sP-selectin、sE-selectin、sVCAM-1 は有意に低下し、善玉アディポカインである adiponectin は有意に増加した。また、adiponectin の増加率が大きい群ではこれらバイオマーカーの低下率も大きいことが明らかになった。

動脈硬化症は糖尿病患者の予後を規定する重要な因子である。本研究は DPP-4 阻害薬が動脈硬化を抑制する可能性を示唆するものであり、その臨床的意義は大きいと思われる。